

第3回 阿賀野市総合計画審議会 議事要旨

1 会議の概要

日 時：平成 28 年 2 月 2 日（火）午後 3：00～5：00

場 所：阿賀野市役所 委員会室

出席者：武田会長、芋川委員、上松（昭）委員、小林委員、島田委員、
百都委員、渡辺委員

2 議事概要

(1) 基本計画の分野別計画（案）について

- ①政策 4 地域経済の活性化
- ②政策 5 生活に密着した住環境整備の促進
- ③政策 6 市民協働の推進
- ④政策 7 信頼される行政経営

3 主な意見

(1) 基本計画の分野別計画（案）について

①政策 4 地域経済の活性化

…施策 1 農業の振興

○基本事業 4 「産地化・ブランド化の推進」の指標『重点 5 品目の作付面積』であるが、『重点 5 品目』の選定基準はどのようなものか。

●カリフラワー、玉ねぎ、ばれいしょは田んぼを利用し、稲の代わりに減反として作付けできることから、いちご、いちじくは収益性が高いことから、市の園芸振興を進めるために向くものとして、この 5 品目を平成 23 年に選定したものである。（農林課長）

○指標『6 次産業化した経営体数』で、現状値の 1 経営体から目標値の 6 経営体にするために、具体的にどのような方法を考えているか。この目標はかなり難しいと思う。

●毎年 1 経営体ずつ増やしていく、という目標であるが、現在すでに行っている

取組として、農家の方を対象に「6次産業化勉強会」を開催している。国・県から専門のプランナーに来てもらい、先行事例や成功例・失敗例など紹介している。この講習で、6次産業化に踏み出していただくことを今後も考えている。

(農林課長)

- 6次産業化のためには、かなりの投資が必要になり、国県市の助成が不可欠である。また、サポートする体制の維持をよろしく願いたい。

…施策3 観光の振興

- 瓢湖は全国的にも有名な場所であると思うが、他県等の有名観光地と比べ、今一つぱっとしないイメージを持っている。瓢湖を訪れる観光客を増やし、長く滞在してもらえるような方法を考えていただけないか。

- 施設整備を平成27年度から進めている。今後も、遊具や湖畔を一周できる遊歩道等を整備する計画を進めていく。冬だけでなくアヤマやハスなどを通年楽しむことができ、市民や観光客がたくさん訪れる、喜んでもらえる場所にしていきたい。毎週更新しているホームページや、NHKテレビの天気ニュース時にライブカメラで瓢湖の状況を発信している。五頭温泉郷では、白鳥の飛来時期に朝の見学バスを運行しているが、それを目的とする宿泊客も年々増えている。(商工観光課長)

- 近隣に佐潟や福島潟があり、白鳥だけでは人を呼べないと感じている。それ以外にも中心となる目玉が必要である。江戸時代に旧幕府代官所があった関係等で来訪したことのある著名人や、阿賀野市出身の歴史的人物や有名人を一箇所で学べる施設があった方がよいのでは。また、会津若松市の観光マップは、歴史や施設、店舗や宿泊施設などの情報が網羅され、見やすく作られている。阿賀野市でも、こんなパンフレットを観光名所に置いて、PRするとよいのでは。

- 観光パンフレットは、現在もたくさん種類を持っているが、全ての情報が網羅されているものは不足しているのかもしれない。今後参考にしたい。また、観光看板を製作中であるが、今年度内に瓢湖とうららの森に設置し、市の魅力を伝えることにつなげる。(商工観光課長)

○海外からの観光客を呼ぶような発想はあるか。

●今年度、英語と中国語、2種類の観光パンフレットを作成し、観光施設に置いている。では、どうやって誘客につなげるのか、といった一歩までは踏み出せていないのが現状である。(商工観光課長)

○観光地満足度調査で、五頭温泉郷が総合満足度1位とあるが、1位になったのは全ての項目が良かったからなのか、あるいは、特定の項目が良かったからなのか、どのように捉えて分析しているか。また、この結果を受けて、五頭温泉郷ではどのような取組を考えているか。

●資料を持ち合わせていないので、細かな部分は答えられないが、営業している12軒の旅館全てが対象になってはいない調査である。そこで、最も順位が上がったのはリピーター率の項目で、次に、おもてなし・接客の項目、自然環境の項目であったと思う。大きな旅館ではないので、きめ細やかな接客サービスで、今後もリピーターを大事にしていきたい。全部で5つの項目があり、その中で総合1位という結果であった。(商工観光課長)

○新しい魅力づくりのための投資は必要である。観光のデザインを考え、老朽化した施設の廃止も含めて、瓢湖周辺でも施設整備を行っていくべき。

●瓢湖周辺では、駐車場の整備も予定している。白鳥公園の遊具を来年度に修繕し、リズムハウスまでを回遊できるような施設整備を進めていく。(商工観光課長)

○瓢湖近辺は、ラムサール条約湿地として登録されているため、新たな建物は建てられないのか。飛んでいる白鳥の姿は、都会から訪れる観光客にとって感動するものだと思う。瓢湖の近くにかくれ家のような施設があれば、宣伝効果が大きく、口コミでも観光客が増えるのでは。

●ラムサールに限らず、文化財指定によっても規制されている区域はあるが、現在のリズムハウスの場所などは区域外となっており、区域外であれば、建設することは可能である。瓢湖のような湖が住宅地の中にあること、人が暮らしているすぐそばにあれだけの白鳥が集まり、5、6キロ先には山並みがあるという自然環境は大変貴重なもの。瓢湖の情報発信と、これを守っていくことは必

要であると思う。(商工観光課長)

②政策5 生活に密着した住環境整備の促進

…施策1 土地の有効利用

○基本事業4「公園の維持管理と整備充実」を掲げているが、家の近くの天朝山公園は、雨が降ると地面がビチャビチャになり、そこで山砂を敷いたところ雑草が繁茂している状況である。何か、その場しのぎの対応に見える。阿賀野市の中心にあり、観光の目玉となる公園であるのに、子どもが満足に遊べない実態である。これをまず何とかしてほしいと思う。

●昨年、天朝山公園に砂を敷いたところで、草刈りを1か月に1回ペースで行っているが、おっしゃるとおりの状況となっている。藪の処理のほか、強風でやられた樹齢150年程度の杉についても、何本か切る処理を今年度に行った。今後は、引き続き木の整備や、日当たりを良くする公園全体の整備計画がある。子どもたちが遊べ、保護者の方からも喜んでもらえる環境を作っていきたいと思っている。(商工観光課長)

○基本事業3「土地・家屋の適正利用と有効活用」の指標「管理不全な空き家数」で、これを減らす目標としているが、具体的にどのような方法を考えているか。

●昨年度の取組で、市内の空き家数の把握と、それがどういった状態であるかを把握する実態調査を行った。その結果、管理不全な空き家数は、現状値に記載のある650あまりであることがわかった。今年度からは、管理している方をまず把握し、その方に適正な管理をお願いする取組を始めた。しかし、管理不全な空き家数と管理者数はイコールではなく、相続等の関係で、管理者数がかなり多くなるのが取り組みながらわかってきたのではあるが、空き家の管理は、第一義に管理者が責任を負うことになるので、管理者との連絡を取ることに力を入れているところである。(建設課長)

○適正な管理を依頼しても、お金がかかることであり、大多数はそうならないと思う。依頼してもだめだった時に、次の対策を考えているか。

●市では「空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」が施行済みであり、また、全国的な問題ということで、昨年5月からは特別措置法も施行されている。管理が行き届かず、人に危害を与える状態にある場合は、強制的にこれを撤去

する『代執行』の措置を講じることも制度としては可能になっている。その場合、費用は誰が負担するという問題があるので、まずは、管理者にお願いをするという第一義的なことを行い、その中で個別の対応ができるよう取り組んでいきたいと考えている。(建設課長)

- 自分も不動産の取扱いを仕事としているが、中古住宅の仲介業者の話では、流通に乗せられる空き家は、全体の2割程度ということである。空き家の問題は、お金が絡み難しい問題と思っているが、現在は空き家バンク制度もあるので、業界としても行政に協力していきたいと考えている。
- 行政だけで取り組んでいくのは、困難な事案と考えている。皆様方の知恵やノウハウを提供いただき、相談に乗ってもらえればと思っているので、ご協力をお願いしたい。(建設課長)

…施策3 公共交通の充実

- 「施策をとりまく環境変化と課題」では、市営バスを市内11路線で運行、という記載があり、基本事業1「市内の交通手段の確保」の指標「市営バスの年間総利用者数」の現状値は114,156人となっている。では、1運行あたり何人くらい乗者しているか、は把握しているか。

また、「施策をとりまく環境変化と課題」で『費用対効果も高い公共交通体系への見直しを継続的に行い』ともあるが、何人くらいの乗車人数であれば、費用対効果が高い、と考えているのか。

- 人口減少と市営バス利用者の減少が正比例している中、11路線、年間300日程度で運行している。高校生が通学のために毎日利用する路線や、高齢者が移動する際に利用される路線等、各路線で状況はまちまちであって、平均の乗車人数までは出していないが、おそらく均せば1便につき4～6人程度ではないかと思う。費用対効果では、福祉のためのバスであるので、市営バスに収益性は考えていない。ただ、運行を続ける限り、ある程度の乗車人数を確保する努力はしているところである。そこで、費用対効果はどのくらい、というものは出しにくい現状である。(総務課長)

- 市営バスを市内全域で運行するというのは難しい、ということをおっしゃっているように聞こえる。福祉ということなら、病院直通であるとか、どうしても必要な方に対してのバス、という意味合いを強めた路線を考えた方がよいので

は。市内全域をまかなうのだが、という部分に違和感がある。自分や家族は、ほとんど利用していない。行政としては、全域にこだわらないといけないのか。

- 全域にこだわるのは、行政として確かにある。必要とされる部分に必要なサービスを提供したい、というのが行政としては当たり前の考え方で、それが1人であれ10人であれ、ということであるが、追い付かない部分も出てくるので、見直しや改善を図っていくよう考えている。(総務課長)
- 『地域の実情に応じた、市民が利用しやすく福祉的な公共交通体系への見直しを継続的に行い』であれば納得できた。『費用対効果も高い』という記載が気になった。
- 費用対効果を考えれば、乗車人数に応じたバスの大きさも考えなければいけないと思うし、今後はデマンド方式の運行も検討の必要がある、と考えている。(総務課長)

…施策6 生活衛生・環境の保全

- 基本事業4「ごみ処理体制の適正化」の指標で「市民1人当たりのごみの処理コスト」は、出るごみの量を減らしてコスト削減に努める、ということであるが、左側のページの「施策をとりまく環境変化と課題」では、ごみ焼却場の老朽化が進んでいる、という記載がある。

現在の阿賀野市のごみ処理体制と、新たな施設の整備について広域連携で建築する計画があるのか、また、それが今後5年以内ではないので、「1人当たりのごみ処理コスト」の目標値は下がっているのか。

- 阿賀野市、五泉市、阿賀町の2市1町で、26年度から協議会を作り、新たな焼却場を建設する計画である。平成35年4月稼働に向け、用地の選定等の作業を鋭意行っているところである。(市民生活課長補佐)
- 新しい焼却場が建設される平成35年以後については、この目標値は上がってくる可能性がある、ということか。
- そのとおりである。(市民生活課長補佐)

…施策7 地球環境・自然環境の保全

- 施策の成果指標「自然環境に満足している市民の割合」の現状値は、アンケートで把握しているが、不満と答えた人はどういった部分で不満なのか、把握し

ているか。

- 今回アンケートの設問形式では、そこまでは掘めないものであった。(事務局)
- 不満な部分を洗い出せれば、そこを改善するだけで、不満という方も減るものと思う。今後、機会があればそこを突き詰めるとよいと思う。

- 基本事業1「大気・水質の保全」を掲げているが、瓢湖の水の汚さにごっかりして帰る方もいる、という話を聞く。たくさんの鳥がいて、餌も撒き、またフンもしてということで水の浄化は難しいのかもしれないが、白鳥の湖にふさわしい水質保全はできないか、と考えている。また、ハスも夏にはきれいな花を咲かせるのだが、その反面、繁茂しすぎていて、飛来してきた白鳥が着水できずにどこかに飛んで行ってしまった、という話も聞いた。

さらに、市役所前も流れている駒林川であるが、下水道整備の関係もあるのかもしれないが、ビニール袋やごみが流れていたり、きれいな川という印象を持っていない。無為信寺や付近の蔵の辺りを流れているが、あの場所は阿賀野市の観光名所となるものと思う。駒林川の環境も何とかした方がよいと思う。

- 湖面には羽が浮いていたり、現在の瓢湖の水はきれいに見えない状況であると思う。あれだけの水鳥がいるので、今頃はしょうがないと思う部分もあるが、今年度は取水ゲートを整備した。取水ゲートと排水ゲートを調整して、水の循環を促進させようと考えている。ハスは、白鳥が飛来するまでに人海戦術で刈るのであるが、ハスを湖面深くで刈って、湖面に出る部分がないようにしないと白鳥は降りたがらない。現在は船に乗って刈っているが、もっと効率の良い作業方法について内部で検討しているところである。(商工観光課長)

③政策6 市民協働の推進

…施策1 市民によるまちづくり活動の推進

- 基本事業4「ポイント制度を活用した地域の活性化の推進」について、ポイントカードのデザインを市ホームページで見たところ、描かれているキャラクターがごずっちょではなく、違うキャラクターだった。ポイントカード事業にごずっちょを絡めない理由といったものはあるか。

- この事業に対し、市においても多方面から支援をしているが、実際の事業運営は『あがのぷらっと』という事業者が行っている。そちらの事業者の方で、瓢

湖にもいる鳥をデザインしたキャラクターを採用したもの。ごずっちょにしな
かった理由は、商工会において、ここ数年『ごずっちょ商品券』を発行してお
り、それらと紛らわしくなることから違うキャラクターになったものである。
(総務部長)

…施策3 人権を尊重するひとづくり

○このページに掲載しているグラフで、パワハラを受けたことがある、と答えた
人が群を抜いている。意図としていなかった結果であるのかもしれないが、こ
れに対してどのように考えるか。

●回答者の年齢別等について、次回に報告させてもらいたい。(事務局)

…施策4 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

○新潟県のアンテナショップが東京の原宿、表参道にあるが、そこでの阿賀野市
の名産品や観光パンフレットによる情報発信の状況はどのようになっているか。

●ネスパスのことだと思うが、観光パンフレットを設置している。そこでのイベ
ントにこれまで参加してきた経緯がある。今年は、第四銀行の「ブリッジにい
がた」の施設を借りて、市の物産の商談会を開催する取組も行った。瓢湖屋敷
の森のブルワリーは、東京にも3店舗を展開しているが、そちらにもパンフレ
ットを置かせてもらって情報発信に努めている。(商工観光課長)

○県人会や、東京方面で活躍している市出身者、企業家もいる。情報は、待つて
いても広がって行かないので、それらの繋がりも活用し、発信について打って
出ていただきたい。

●有楽町駅前に「ふるさと回帰支援センター」という全国都道府県で出している
施設がある。先般の新聞では、新潟県も新たに職員を常駐させるとのことであ
り、そこにもパンフレットを置いてきた。現在、東京都内では、有楽町駅前と
原宿、それと瓢湖屋敷の森ブルワリーの3店舗において、パンフレットによっ
て情報発信を行っている状況である。(事務局)

④政策7 信頼される行政経営

…施策1 行政経営の推進

○基本事業4「公共施設等のマネジメントの推進」の指標「市民1人当たりの公

共施設等延床面積」であるが、減少する目標値になっている。人口が減ることを見込む中、この目標値を算出されたのだが、現存の公共施設のうち具体的に廃止する予定の施設はあるのか。

- この期間において、古くなった施設の廃止を含めた統廃合について計画している。利用されなくなる施設をある程度想定し、目標値を算出したものである。
(管財課長)

○基本事業5「自主財源の確保」の指標「市税収納率」の現状値93.15%は、高いのか低いのか。また、滞納者への具体的な現在の取組を教えてください。

- 本日、税務課長が欠席しており、次回の委員会で説明させていただく。(事務局)
- 現状値の93.15%は、県内で中位になると思う。合併当初は、もっと下位であったが、これまでの取組により引き上げてきたところである。以前はやらなかった差押えについて、税法に則って執行する件数が増えている。相手と接触できずに滞納額が増えていく事例があるが、接触する機会を持つためにも差押えの執行を通知することで、滞納者もこちらと向き合ってくれる場合がある。(総務部長)

…施策2 適切な事務執行とサービス提供

○市の財源は、これから厳しくなってくるものと思う。民間と共同で公共サービスを行う『PPP』について、他自治体では取組を始めている動きがある。阿賀野市でも、その手法を考えていかななくてはいけない時期ではないか、と思う。新発田市では、中心市街地活性化のための国からの予算を使い、新しい施設を造ったりしているようである。近隣でそのような事例も出てきているので、取組を模索していく必要があるのではないか、と思っている。

また、これは先の話になると思うが、高度な自治運営に集中するために、公共施設の運営権を民間に譲渡したり、民営化できる業務は民間に委託する取組を進めていただきたい。